

広報

No.657

小さくてもきまぐれと 光る美しいまち

町 訪 下 行 冊
集 編 総 務 課
情報防災係

〒393-8501
長野県諏訪郡下諏訪町4613-8
☎ 0266-27-1111
FAX 0266-28-1070
下諏訪町ホームページアドレス
<http://www.town.shimosuwa.lg.jp>
E-mail=jyoho@town.shimosuwa.lg.jp

若い世代の思いを町政に



僕達、私達が町の未来を描く

今年で第9回目になる「しもすわ未来議会」が開催されました。

「しもすわ未来議会」は、平成21年度から始まり、未来を担う中学生、高校生の視点から、地域社会や将来のまちづくりについて主体的に考え、積極的に意見や提案を発表し、社会参加や参画協働の意識を高めていくことを目的として行われていきます。

今までに、このしもすわ未来議会から、しもすわガーデンプログラクトやジュニア防災リーダー研修、家庭用災害備蓄品の販売などが提案され、事業化されてきました。

本番に向け、各学校では事前学習を実施し、代表となる生徒達は情報収集や資料作成などの準備を進めてきました。

当日は、中高生議員から未来を担う世代として何を考え、将来のまちづくりを何を考えているのか、町に意見や提案が出されました。

通常の議会の本会議と同様、

青木悟町長をはじめとする理事者及び全課長が出席し、林元夫町議会議長の進行により行われました。

結団式

10月3日(火)に結団式が行われ、町や町議会の関係者、学校の先生方が見守るなか、9人の議員に青木町長から認定書が授与されました。

青木町長から「今までにしもすわ未来議会では、皆さんの先輩方から様々なご意見やご提案をいただけてきており、そのいくつかが町の施策として反映されてきた。当日は緊張や不安もあるかもしれないが、自分の思いをしっかりとぶつけていただきたい。私たちも精一杯意見や要望に応じていきたい。」とあいさつがありました。

また議員を代表して、下諏訪向陽高等学校の中村春菜議員から「昨年提案された街灯の設置が実現され、通学路の安全性が確保された。私たちの意見がしっかりと町の施策に反映されており、大変嬉しく感じる。それ

ぞれの学校や世代の代表として、自分たちの思いや考えをしっかりと伝え、有意義な時間とした。」と意気込みを語りました。続いて、議席と質問順を決める抽選では、各議員、緊張しながらくじを引いていました。その後、本会議場にて本番さながらのリハーサルが行われました。



認定書を手渡される生徒



緊張した面持ちで待つ様子



議場で実際にリハーサル



議席の抽選を行う生徒



議員の皆さん（議席順）と質問内容

下諏訪中学校三年
下諏訪中学校三年
下諏訪向陽高校二年
下諏訪中学校三年
下諏訪向陽高校二年
下諏訪中学校三年
下諏訪中学校三年
下諏訪社中学校三年
下諏訪向陽高校二年

みなみ 南 響稀
こまつ 小松 陽香
みやさか 宮坂 翔大
まつい 松井裕太郎
みずの 水野 真結
あらかわ 荒岡 天樂
なかつら 中村 彩音
すぎやま 杉山 孝太
なかつら 中村 春菜

下諏訪町の観光について
ニュージーランド海外研修について
幼保小中高の世代間のつながりについて
部活動のための町の体育施設の使用について
山王閣の跡地について
「防災意識日本一の町」を目指した防災訓練のあり方について
下諏訪町の活性化に関する提案について
下諏訪町の税金の使われ方について
下諏訪町が実施する海外交流について

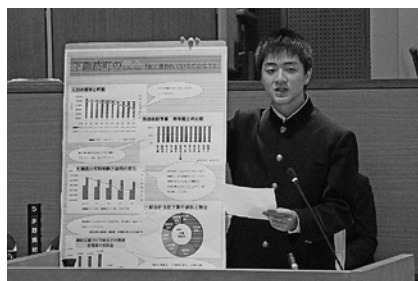
本 会 議

本会議次第

- 開会
平成29年10月13日(金)
午後1時15分
- ・本日の議員の出欠及び会議成立宣言
- ・町長による招集あいさつ
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期日程の決定
- ・一般質問
- ・閉会にあたって町長あいさつ
- ・代表議員お礼のあいさつ
- ・議会議長講評
- 閉会 午後3時16分

多くの傍聴する生徒が見守るなか、9人の議員の皆さんは緊張した面持ちで議員席に座り、午後1時15分に本会議が開会しました。開会に当たり青木町長から、「今年も各学校を代表する皆さんとすもすわ未来議会を開催できることを大変嬉しく思う。しもすわ未来議会は、中高生の皆さんに政治や議会を身近に感じてもらい、積極的に関わり合いを持っていただくことを目的として、開催している。議員の皆さんには、各校の代表という立場だけでなく、同じ世代の代表として自分の思いや考えを精一杯ぶつけていただきたい。傍聴されている皆さんも一人ひとりが議員になったつもりで、ご覧いただき、それぞれが町づくりに対するご自身の考えをお持ちいただきたい。」とあいさつがありました。

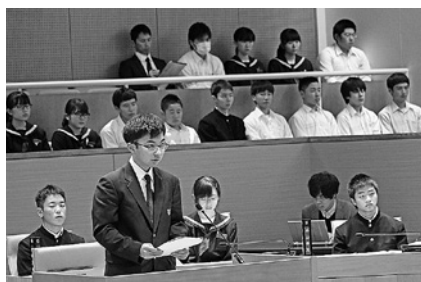
そしていよいよ林町議会議長の進行で一般質問が始まりました。議員の皆さんは順番に質問席に着き、持ち時間10分間という限られた時間の中で、町に質問や提案を行いました。議員の皆さんは、緊張しながらも堂々とそれぞれの意見・質問を発言していました。一般質問終了後に、議員を代表して、下諏訪社中学校の杉山孝太議員から、「僕たち若い世代が下諏訪町をより良くするために、自分の意見や提案を考えることは大切なことだと思う。今までに町は私たち中高生から出た多くの意見や提案について検討し、実現していただいております。嬉しく感じています。これからもしもすわ未来議会を続けていただきたいと思います。」とあいさつがあり、本会議が終了しました。



本会議を見守る生徒達

町内中学校の3年生、約170人は交代で議場に入り、傍聴席で各学校の代表生徒が質問する様子を傍聴しました。

議員だけではなく、傍聴した生徒それぞれが下諏訪町の将来のことを考え、学習する場となりました。



次のページに各議員の質問の要旨を掲載しています。

議席1 南響稀議員

(下諏訪社中学校)

「下諏訪町の
観光について」



南議員 町には貴重な文化財や歴史的な建造物が多くあるため、CMを作成したり、ホームページやSNSなどを通じて対外的に情報発信したりしてはどうでしょうか。

町 現在、インターネットやパンフレットなどを活用し、観光情報の発信を行っています。同様に、諏訪圏全体としても地域のブランド化や情報発信を進めています。
また、三角八丁などのイベントを通じ、町民の皆さん、他地域の皆さんに下諏訪町の良さを知っていただくことが重要だと考えています。今後は、まち歩きの特典として儀象堂を改修し、町の歴史や文化財を体感していただく環境整備を行っていきます。
皆さんが作成したCMの使用についても検討したいと思えます。

議席2 小松陽香議員

(下諏訪中学校)

「ニュージールランド
海外研修について」



小松議員 昨年度の研修に参加しましたが、現地における研修の内容を選択できないでしょうか。また、現地の生徒と相互に交流することはできないでしょうか。

町 授業内容の選択については、受入れ先の方針もあるので、現地利と相談して対応可能か確認をしてみたいと思います。一方で、日本とは違った現地の学校生活に身を置き、困難な中でも、生徒たちと意思を交わし合うことから学ぶこともあるのではないかと思います。
当町には海外の姉妹都市がないため、生徒が直接行き来する相互交流の実施は難しいですが、研修先の学校や生徒と、インターネットなどを活用して交流することは可能ではないかと思えます。

議席3 宮坂翔大議員

(下諏訪向陽高校)

「幼保小中高の世代間の
つながりについて」



宮坂議員 文化センターの会議室を、小中高生が集まる学習スペースとして開放できないでしょうか。また、ブックプロジェクトについて、町として協力していただけないでしょうか。

町 向陽高校の皆さんが、地域に根差した各種事業を企画してくれていることに感謝します。小中学生が高校生から直接学ぶ機会是非常に大切であり、とても良い提案だと思います。文化センターの空いている部屋を利用して実施していただければと思います。
ブックプロジェクトについては、活動の周知など、町として協力できる部分については協力していきますので、町民の皆さんにより一層読書活動が広がるよう、今後も皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

議席4 松井裕太郎議員

(下諏訪中学校)

「部活動のための町の
体育施設の使用について」



松井議員 下諏訪体育館で町外の学校と練習試合を行う際も、使用料を減免してほしいです。また、屋外のバスケットゴールの設置場所を増設できないでしょうか。

町 町の体育施設の使用料については、町内の中学生の部活動については免除、町外の中学生については居住地に応じて減額措置が取られています。体育館などの施設の維持管理には大きな費用が掛かるため、その一部を使用料として皆さんにご負担いただく必要があります。全面無料にすることは難しいことについてご理解ください。
バスケットゴールの設置については、昨年設置したものが好評であったため、赤砂崎公園の整備の中で検討していきたいと思えます。

議席5 水野真結議員

(下諏訪向陽高校)

「山王閣の跡地について」



水野議員 山王閣の跡地に、公園や足湯、御柱に関する施設をつくるのはどうでしょうか。観光に関するARアプリを開発してはどうでしょうか。

町 山王閣は半世紀にわたり地域の皆さん、観光客の皆さんに親しまれてきた施設であり、取り壊しについては寂しく思いますが、土地の賃貸借契約の関係からもやむを得ません。山王台は古くからの景勝地であるため、所有者である諏訪大社には、地域の皆さんの憩いの場、観光に寄与する場として活用していただければありがたいです。
ARアプリの活用が全国的に進んでいることは承知していますが、町の事業として開発することは難しいため、民間の皆さんにご協力いただければと思います。

議席6 荒岡天樂議員
(下諏訪中学校)

「防災意識を高める防災訓練のあり方について」



荒岡議員 町の総合防災訓練について実施内容を見直した方が良いのではないのでしょうか。中学生・高校生も大人と同様の訓練に参加することはできないでしょうか。

町 現在町では、各地区の自主防災会の皆さんにもご参加いただき、総合防災訓練を行っています。訓練内容について、検討が必要な部分もあります。実際の災害を想定した実践に即した訓練を、多くの皆さんの参加のもと、繰り返し実施していくことが重要であると考えています。
中高生の参加については、危険が伴う訓練もあり全ては難しいですが、実際に被災した場合、若い皆さんの力をお借りする場面があると思いますので、そのための訓練の機会も設けていきたいと思えます。

議席7 中村彩音議員
(下諏訪中学校)

「下諏訪町の活性化に関する提案について」



中村議員 人口減少の問題に対し、町は今後の魅力ある町づくりにについてどうお考えですか。また、赤砂崎公園に、町民が集う公園や施設を整備してはいかがでしょうか。

町 日本全体が人口減少の時代を迎え、社会の維持や労働力の確保のために、今後は子どもを産み育てやすい環境づくり、また高齢者の皆さんが地域で元気に活躍できる施策が一層必要になると思います。赤砂崎公園については、防災公園の位置づけで事業を進めているため、新たな建物を建設するのは難しいですが、今後整備が進み、緑が豊かになると共に、皆さんの憩いの場として魅力的な公園になっていくと思えますので、もう少しお時間をいただければと思います。

議席8 杉山孝太議員
(下諏訪社中学校)

「下諏訪町の税金の使われ方について」



杉山議員 町の税金の使われ方や、その特色について教えてください。また、学校の学習用のパソコンに入っているソフトの充実についてご検討いただけないでしょうか。

町 税金を通して、町を見直し、質問してくれたことを嬉しく思います。当町は非常にコンパクトな町であり、行政効率が高く、税金の投資も効果的に行うことができるため、これまで、下水道などのインフラ整備についても、着実に進んでいくことができました。また、古くから観光・精密工業で発展してきた町であり、これらの産業に力を入れてきたことも特徴です。
パソコンの学習については、今後、皆さんが社会に出る際にも必要になるものでありますので、来年に向けて環境を整えていきたいと思えます。

議席9 中村春菜議員
(下諏訪向陽高校)

「下諏訪町が実施する海外交流について」



中村議員 町の海外研修について、高校生も参加できるようにしていただけないでしょうか。ボートや弓道などのスポーツを通じた国際交流をしてはいかがでしょうか。

町 初年度の海外研修については、参加した皆さんにとっても貴重な体験となり、大きな成果を上げることができました。高校生の研修への参加については、現段階では難しいですが、海外で学びたいという意欲は大切ですので、諏訪圏全体で考えたり、個人の留学に対する補助といった支援を検討してみたいと思えます。
スポーツによる国際交流については、重要であると認識しています。2020年の東京五輪を控え、町ではボート競技を通じた、海外の皆さんの誘致活動を進めています。

「政治に興味を持つ機会に」

議員の皆さんが、この未来議会をきっかけに下諏訪町の現状を見つめ直し、質問を通じて、町に対するそれぞれの思いを伝えてくれたことを本当に嬉しく思います。できるだけ皆さんの思いに沿ったまちづくりを進めていきたいと思えます。

これからの地域や国を支えていくのは皆さん方若い世代です。向陽高校の皆さんの中には、すでに選挙権を有する方もおられるかと思えます。この機会に、政治や議会活動にもぜひ興味を持ってもらいたいと思えます。

私たち行政も、皆さんの期待に応えられるよう、しっかりと働いていきたいと思えます。

本日は本当にありがとうございます。ありがとうございました。

町長の講評より



質問と答弁の全文については、町のホームページで「しもすわ未来議会会議録」を掲載しますのでご覧ください。